

# 総合教育会議

## 小中学校現場の現状について



**START!**

2023.12.6

伝馬町小学校

大川 拓郎

# 良いところ

---

- 子どもが第一
- 組織を大切にする
- 向上心が高い

# 悪いところ

---

- 時間の余裕がない
- 学校の中で完結する
- 視野が狭い

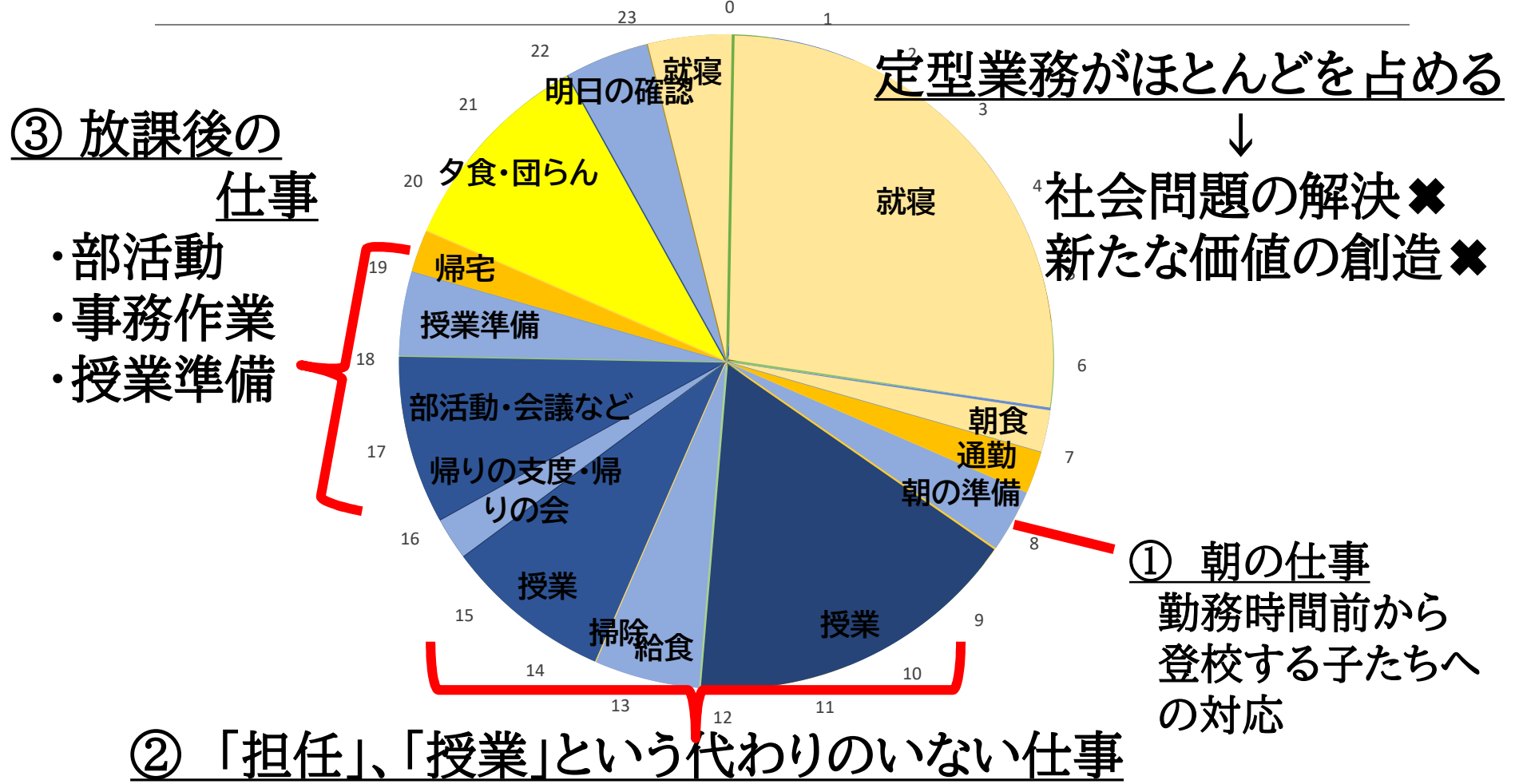
# 解説：時間の余裕がない

～文科省の各種調査結果より～

- 休憩時間がとれない  
小学校 平均9.4分  
中学校 平均14.6分
  - 超過勤務の常習化 月45時間以上の教員  
小学校 64.5%  
中学校 77.1%
- (※ 年360時間以内も守るならば月30時間以内)
- 精神疾患による病気休職者の増加  
過去最多5897人(全体の0.64%)

# 解説：時間の余裕がない

～ある教員の一日の流れ～



② 「担任」、「授業」という代わりのいない仕事

→子どもがいると休めない、休めば後で自分がやるだけ

# 解説：時間の余裕がない

～社会からの要請～

- ・情報教育
  - ・ICT教育
  - ・ネットリテラシー教育
  - ・プログラミング教育
  - ・特別支援教育
  - ・インクルーシブ教育
  - ・ユニバーサルデザイン教育
  - ・人権教育
  - ・主権者教育
  - ・平和教育
  - ・性教育
  - ・小中連携教育
  - ・オリンピック・パラリンピック教育
  - ・「性の多様性」教育
  - ・消費者教育
  - ・LGBT教育
  - ・安全教育
  - ・起業家教育
  - ・環境教育
  - ・キャリア教育
  - ・自然体験教育
  - ・福祉教育
  - ・外国語教育
  - ・道徳教育
  - ・心の教育
  - ・多文化共生教育
  - ・国際理解教育
  - ・ボランティア教育
  - ・NIE教育
  - ・食育教育
  - ・図書館活用教育
- などなど・・・

これだけでも30個・・・

# 解説：時間の余裕がない

～ 変わる状況 ～

☆ 今までは成り立ってきた

- 経験豊富な先生方が多数(20年前 20代1人、30代1人)
- 長時間労働が美德という文化(夜中1時まで働く先生)
- 保護者の理解

この状況から・・・

- ✖ 教職員の大量退職 → 若年齢化
- ✖ 長時間労働の是正、権利の行使
- ✖ 子どもの多様化
- ✖ 保護者の厳しい要求

- ・新採の増加にともなう、臨時的任用教職員の減少
- ・休職者、育休者の増加による、欠員の拡大
- ・特別支援学級の増加による、必要な教員数の増加
- ・子どもの不登校の増加による、養護教諭の負担の増加

# 解説：時間の余裕がない

～ 教師の本音 ～

- ・迷惑をかけてしまうから休めない。
- ・新しいものが始まって、これ以上はできない。
- ・支援員は来たけど、準備するのは自分たち
- ・特別な授業(1時間)のための打合せに2時間

授業が減らない  
事務作業が減らない(むしろ増える)

耐える→やりきれない→無力感・あきらめ



## <目標>

---

# 「働き方改革プラン」の 目標達成を本気でめざす

- ・特に、「令和8年までに、  
月45時間以内の教員を0%」に！

そのために・・・

---

## ◎ 働き方改革の視点

☆1 持ち時数を減らす

☆2 朝と放課後の  
仕事を減らす

# 働き方改革の推進のためにできること

---

## ① 級外職員の増員

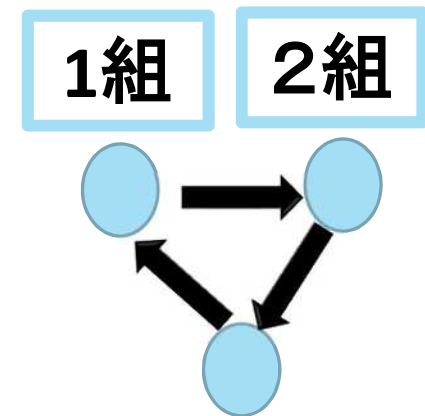
級外職員が増えれば・・・

- 持ち時数の減少
- 分掌が分散し、事務作業の減少
- 教科担任制で授業準備の効率化
- チーム担任制(※)など、任用の多様化

# 解説：チーム担任制

- ・2クラス → 3人で担任する
- ・朝の会、帰りの会はローテーション  
→ 時間の調整ができるようになる
- ・先生たちに休んでも良いという認識が生まれる
- ・担任という責任を分散化する

- 富山県や神戸市、鹿児島県などで実践例
- 静岡市内の私立中・高でも実施
- 保護者から「クラス間の差がでにくい」と良い評価



働き方改革の推進のためにできること

---

## ② 部活動はシズカツに！

- ・市教委の進める地域移行
- ・シズカツは市の事業へ！
- ・令和8年度 休日から！
- ・令和12年度 平日も！

働き方改革の推進のためにできること

---

### ③ 少人数職種を増員

- ・養護教諭の負担軽減
- ・心のケア(子どもも、教師も)

## 働き方改革の推進のためにできること

---

・地域、保護者との連携

・志願者数を増やす工夫

・各種会計の公会計化

・働き方改革の議論 など

まだまだできることがある！

# 山積する教育課題

---

◎逆にとらえればチャンス！

◎静岡市は〇〇をやっている！



☆ 子どもの明るい未来！



☆ 静岡市の魅力は「教育」！